

小金吾の墓(畑屋)

畑屋口の田の中に、五、六本のならの木があつて、その木かげに「小金吾の墓」としてした、ちいさな石が立つてゐる。

源平のころ、平清盛の孫維盛(こねもり)が、敗戦の身を下市のすし屋によせていたとき、その家臣として従つてきていた小金吾は、平家の衰運を悲しみ、ついにこの場所で、自害してはたと伝えられている。村の人たちはそれをあわれみ、この墓を建てて今に供養してゐる。

「このあたりを」「きんごぢやう」と呼んでゐる。



こきんごくん